

ホール天井耐震化工事における審査講評について

西宮市は、ホール天井耐震化工事（以下、「本工事」という。）にかかる、ホール天井耐震化事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）の審査講評等を公表します。

平成29年11月14日

西宮市長 今村 岳司

ホール天井耐震化工事 提案審査講評

平成 29 年 11 月 14 日
ホール天井耐震化事業者選定委員会

— 目 次 —

1. 選定委員会の審議・審査等の経過	1
2. 審査結果.....	1
3. 落札候補者の市への答申	4
4. 提案に対する評価の概要	5
5. 選定委員会の総評	6

1. 選定委員会の審議・審査等の経過

選定委員会は、本工事の落札候補者を選定するために、選定委員会を2回開催した。

回数	時期	議事
第1回	平成29年5月22日(月)	<ul style="list-style-type: none">・ 委員長選任・ 委員会の進め方・ 工事概要について・ 公告資料について 入札説明書 発注仕様書 落札者決定基準 様式集 工事請負契約書
第2回	平成29年10月5日(木)	<ul style="list-style-type: none">・ 第一次審査結果について・ 基礎審査結果について・ 提案内容の審査・ 落札候補者の選定

2. 審査結果

(1) 入札参加者

本項時における入札参加者は、以下のとおりであった。

提案受付番号	代表企業 (JV 形態)	企業名
ホール 2	株式会社 大林組 神戸支店	株式会社 羽衣組

(2) 第一次審査

提案受付番号「ホール 2」の提出した入札参加表明関係書類が、別途定めた入札説明書に示す必要要件を満たしていることを確認した。

(3) 基礎審査

提案受付番号「ホール 2」の提出した技術提案書等が、別途定めた発注仕様書に示す必要要件を満たしていることを確認した。

(4) 加点審査

a) 実績・実施体制に対する評価点の確認

選定委員会は、基礎審査を通過した提案受付番号「ホール 2」の提案審査書類について、予め落札者決定基準で公表された、実績・実施体制に対する評価項目と配点に基づき評価を行い、次のとおり評価点を次頁のとおり付与した。

(選定委員会の実績・実施体制に対する評価点：20点満点)

評価項目		評価の視点	点数	配点	評価点		
業務範囲に関する実績	耐震化天井工事の実績	過去に施工面積 500 m ² 以上の耐震化天井工事の設計業務を自社で行ったことがある	5件以上	2	2	2	
			1～4件	1			
		過去に施工面積 500 m ² 以上の耐震化天井工事を元請として行ったことがある		5件以上	2	2	2
				1～4件	1		
	落下防止措置の実績	過去に施工面積 500 m ² 以上の天井に関する落下防止措置の設計業務を自社で行ったことがある		3件以上	3	3	3
				2件	2		
1件				1			
過去に施工面積 500 m ² 以上の天井に関する落下防止措置を元請として行ったことがある				3件以上	3	3	3
	2件			2			
	1件			1			
配置技術者に関する実績	管理技術者(設計)の実績	過去に落下防止措置の設計実務実績を有している	3件以上	2	2	2	
			1～2件	1			
	設計担当者の実績	過去に落下防止措置の設計実務実績を有している		3件以上	2	2	0
				1～2件	1		
	現場代理人の実績	過去に落下防止措置の現場代理人実績を有している		2	3	0	
		過去に耐震化天井工事の現場代理人実績を有している		1			
実施体制	市内企業設計企業が含まれている		3	3	3		
計				20	15		

※実績は、入札公告日から起算して過去10年間に履行されたもの(同日において業務期間中であるものを含む)。

※項目に複数該当が有る場合は、配点の高いほうとする。実績評価はJVの構成企業に限る。

b) 技術評価点の審議

選定委員会は、基礎審査を通過した提案受付番号「ホール 2」の提案審査書類について、予め落札者決定基準で公表された、技術提案に対する評価項目と配点に基づき評価を行い、次のとおり評価点を次頁のとおり付与した。

(選定委員会の技術評価点：60点満点)

評価項目	評価のポイント	評価小項目	点数	評価	評価点
① 施工方法に関する項目	①提案工法の実績 (5点)	ア) 提案工法の実績が5件以上：5点/提案工法の実績が3～4件：3点/提案工法の実績が1～2件：1点/提案工法の実績が0件：0点	5	-	5.00
	②落下防止措置の妥当性に関する提案 (20点)	ア) 工事対象に応じた適切な工法の提案がなされている	5	A	5.00
		イ) 工事対象の音響性能などの機能維持に配慮された提案がなされている	5	A	5.00
		ウ) 大地震を想定した、人命保護に資する技術的な提案がなされている	5	A	5.00
		エ) 工事対象の将来的な維持管理を考慮した提案がなされている	5	B	3.00
	③工事計画に関する提案 (14点)	ア) 対象施設の工事期間、作業可能時間、作業可能日等を十分に理解した工事計画となっている	3	A	3.00
		イ) 対象施設の事前調査業務について提案がなされている	3	B	1.80
		ウ) 工事期間中の安全性確保に関する提案がなされている	5	A	5.00
		エ) 緊急時の連絡体制について提案がなされている	3	A	3.00
	④工事期間中に配慮すべき事項に関する提案 (6点)	ア) 施設利用者に配慮された工事計画となっている	2	A	2.00
		イ) ホール周辺の環境に配慮された工事計画となっている	2	B	1.20
		ウ) 工事期間中の工事従事者動線について提案がなされている	2	A	2.00
	⑤工期に関する項目	⑤工期短縮に関する提案 工期遵守に関する提案 (10点)	ア) 工期短縮が図られている	5	A
イ) 工種毎に明快な工程計画となっている			2	A	2.00
ウ) 市の別途実施する工事との連携体制について提案がなされている			3	B	1.80
⑥その他	⑥対象施設に対する提案 (5点)	ア) 提案工法施工後の意匠性について提案がなされている	2	A	2.00
		イ) 附帯工事について、対象施設の維持管理に関する提案がなされている	3	A	3.00
計					54.80

(各審査項目の得点化基準)

評価	評価基準	得点化の方法
A	提案が特に具体的で優れている	点数×1.00
B	提案が具体的で優れている	点数×0.60
C	提案が具体的ではあるが標準的である	点数×0.20
D	提案が具体的ではない	点数×0.00

(5) 入札価格の確認

提案受付番号「ホール 2」の入札価格（消費税及び地方消費税は含まない）は、次に示すとおりであった。選定委員会は、入札価格が市の予定価格以下であることの確認を行った。

(消費税及び地方消費税は含まない)

提案受付番号	入札価格
ホール 2	470,000,000

予定価格：506,852,000

(6) 価格評価点の確認

提案受付番号ホール 2の価格評価点は、予め落札者決定基準で公表された、価格評価点の算定式に基づき、次のとおりであった。選定委員会は、価格評価点の算定に誤りがないか確認を行った。

(価格評価点：20点満点)

単位：円（税抜）

予定価格	当該入札価格	配点	価格評価点
506,852,000	470,000,000	20	1.5

(価格評価点の算定式)

$$\text{価格評価点} = \{ 1 - (\text{当該入札価格} / \text{予定価格}) \} \times 20 \text{点}$$

※有効桁数は小数点第1位とし、小数点以下第2位は四捨五入する。

(7) 総合評価点の確認及び落札候補者の選定

選定委員会における審査結果は次に示すとおりであり、選定委員会は、規定により提案受付番号ホール 2を落札者候補に選定した。なお、加点審査は、入札参加企業の実名及び入札価格を伏せて実施し、審査終了後にすべての実名、入札価格及び総合評価点の確認が行われた。

提案受付番号	①実績・実施体制に対する評価点	②技術評価点	③価格評価点	④総合評価点	総合評価点順位
ホール 2	15	54.80	1.5	71.30	1位

①、②：選定委員会の加算点

$$\text{③価格評価点} = \{ 1 - (\text{当該入札価格} / \text{予定価格}) \} \times 20 \text{点}$$

※有効桁数は小数点第1位とし、小数点以下第2位は四捨五入する。

3. 落札候補者の市への答申

選定委員会は、落札候補者に提案受付番号「ホール 2」の企業を最も適当な者として選定し、市に答申した。

提案受付番号	企業名
ホール 2	大林・羽衣特定建設工事共同企業体

提案に対する評価の概要

提案に対する選定委員会での評価の概要は次のとおりである。

<提案受付番号「ホール 2」>

【工事対象に応じた適切な工法の提案について】

- ・工事対象の天井形状に合わせ、技術証明を取得する予定も含め、提案がなされている。

【工事対象の音響性能などの機能維持に配慮された提案について】

- ・工事対象は音楽ホールでもあるため懸念していたが、実験結果を提案書において示している。工事技術としても高いと考える。

【大地震を想定した、人命保護に資する技術的な提案について】

- ・新設の吊りボルトに係る小梁の新設は、既存躯体への影響も少なく、仮に既設吊りボルトが破壊・脱落しても既設天井が落下しない本計画は、評価できる。

【工事対象の将来的な維持管理を考慮した提案について】

- ・経年劣化の影響を観察する観点より、採取が可能な位置に試験用サンプルを設置する提案が評価できる。

【対象施設の工事期間、作業可能時間、作業可能日等を十分に理解した工事計画について】

- ・発注仕様書を遵守し、合理的な工程を計画し、勤労会館や西宮東高校ホールは工期短縮し、アミティホールは工期遵守を計画した工事計画は評価できる。

【対象施設の事前調査業務の提案について】

- ・建物診断報告書と適切な維持保全を行うための修繕計画書を作成する提案は評価できる。

【工事期間中の安全性確保に関する提案について】

- ・ハザードマップの提案等、対象施設のことをよく調べている。
- ・無火気工法の提案は評価できる。
- ・周辺エリアも含め、工事期間中に起こりうる事態を想定した提案となっていると考えている。

【緊急時の連絡体制について】

- ・全社的なサポート体制を示すなど、良い提案内容となっている。

【施設利用者に配慮された工事計画について】

- ・使用しない扉を閉鎖するなど施設利用者と工事従事者の動線分離を徹底し、施設利用者に配慮された工事計画である。

【ホール周辺の環境に配慮された工事計画について】

- ・周辺環境に合わせた資材搬出入時間の設定や、ハザードマップによる近隣歩行者への配慮など具体的な提案が評価できる

【工事従事者動線について】

- ・工事従事者のトイレの位置を指定するなど具体的な動線分離が計画されており評価できる。

【工期短縮について】

- ・合計 46 日間の短縮が提案されている。

【工種毎の工程について】

- ・施設ごとには工期短縮が図られ、3 施設を順に明快な工程が提案されており評価できる。

【市の別途実施する工事との連携体制について】

- ・別途工事会社との合同朝礼や、吊り足場利用方法の場内ルールの共有化など評価できる。

【提案工法施工後の意匠性について】

- ・天井内の設備類などに配慮した上で、整ったデザインの提案がなされている。
- ・勤労会館においては建具の更新工事において、開閉角度が大きくなる等良い提案である。

【附帯工事に関する、対象施設の維持管理に関する提案】

- ・工事対象範囲に限られるが、建物診断報告書、修繕計画書は良い提案である。

4. 選定委員会の総評

本事業は、勤労会館ホール、西宮市民会館アミティホール、西宮東高校ホールにおける天井の安全性の確保を目的に行われるものです。

本事業に対しては、1 グループからの提案となりましたが、高度な技術を必要とする提案をいただきました。

本計画で提案されているフェイルセーフ方式の落下防止措置は、工事対象の天井形状に合わせる工法であり、評価できます。また、安全性の確保のため耐震化天井内の吊りボルトを新設する際に、既存鉄骨梁がない場合で小梁を新設することが、既存躯体への影響がないか選定委員会でも質疑がありましたが、事務局から影響がないとの回答を得たため、提案を評価します。

以上